

株主の皆様へ

FUJI NIHON SEITO CORPORATION

第 **96** 期  
中間報告書

2018年4月1日 ▶ 2018年9月30日

 **フジ日本精糖株式会社**

証券コード：2114



## 企業理念

私たちは、「夢のあるたくましい会社」を目指し、健康な生活づくりに貢献します。

## 経営方針

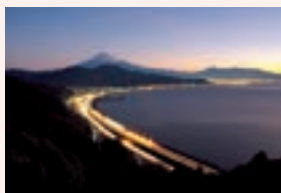
- ① 顧客第一主義の徹底
- ② 会社の発展と共に社員が成長する企業文化の形成
- ③ 公正で透明性のある企業活動の推進
- ④ 社会に評価される企業価値の向上
- ⑤ 社会に貢献する企業市民活動の充実

### CONTENTS

|           |       |     |
|-----------|-------|-----|
| トップインタビュー | ..... | P 2 |
| セグメント別の状況 | ..... | P 5 |
| 連結財務諸表    | ..... | P 7 |
| 会社概要／株式情報 | ..... | P 9 |
| トピックス     | ..... | P10 |
| インフォメーション | ..... | 裏表紙 |

### ● 表紙の写真について

表紙の写真は、当社「写真同好会」の辻田 和人が撮影した作品です。



撮影地 - 静岡市 由比倉沢 - 「駿河湾の夜明け」

## トップインタビュー

### 成長への足場を固め、より「たくましい企業」へ。

**Q** 新経営体制発足後、どのような変化が生じていますか？

**A** 「砂糖分野」の安定収益化と「非砂糖分野」の成長加速への意思を全社で共有しています。

今年6月に代表取締役社長を拝命し、5ヵ月余りが経過しました。「成長を目指した基盤固めと新規事業のさらなる育成」を掲げた中期経営計画の推進を引き継ぎ、各事業戦略を遂行する中で、従来からの経営課題である「砂糖分野」の安定収益化、そして「非砂糖分野」の成長加速への意思を全社で共有しています。

外部環境においては「TPP11」の発効が間近に迫り、当社の精糖事業は今後、砂糖を含む最終製品の輸入増など間接的に影響を受けるものと見られます。また、国内の砂糖消費量も少子高齢化の進行と加糖調製品・高甘味度甘味料の輸入増により、減少に拍車がかかっています。こうした変化を見据え、精糖事業については、製造コストの圧縮と採算を重視した販売により収益性を高めて行くつもりです。非砂糖分野のイヌリンについては、国内のさらなる販売強化と主としてアジア他海外での販売を軌道に乗せるべく、重点的な取り組みを進めています。

当社は、「夢のあるたくましい会社」を企業理念として掲げ、社員に呼び掛けています。私たちの未来を照らす力強い言葉ですが、その実現は事業の存続の上に成り立つものです。成長への足場をしっかりと固めつつ、「夢」を生み出す新たな可能性を拓き、より「たくましい企業」へ進化していきたいと考えています。

**Q** 当上半期の営業状況についてお聞かせください。

**A** 増収・増益ベースで推移したものの、海外子会社の減損処理により最終赤字となりました。

主力の精糖事業は、販売数量について計画通りの成果を上



代表取締役社長 櫻田 誠司

げたものの、世界的な需給緩和による海外原糖相場下落の影響を受けて、製品の販売価格が下がり、前年同期の売上高を下回りました。しかし利益面では、生産体制の集約化などによる製造コストの圧縮効果が現れ、増益となりました。

機能性素材事業は、国内市場においてイヌリンの販売数量が増加、また、連結子会社ユニテックフーズ株式会社による天然素材製品販売やOEM事業も伸長した結果、増収・増益となりました。イヌリンは、低糖質素材としての高評価に加え、前期に整腸作用や血中中性脂肪の低減効果、食後の血糖値上昇の抑制効果に関する機能性表示を取得したことで、国内食品メーカーの新規採用が増えました。

一方、タイ連結子会社Fuji Nihon Thai Inulin Co., Ltd. (以下、FTI社) によるイヌリン事業は、タイでの販売の他、フィリピン、マレーシア、インドネシアへの周辺国展開を本格化し、販売数量の増加に努めています。

その他食品事業のタイ連結子会社DAY PLUS (THAILAND) Co., Ltd. (以下、DPT社) によるパン製造・販売事業は、同国内のコンビニエンスストア・量販店・ガソリンスタンド等新規納入先が増え、着実な成長を示していますが、規模的にはまだ十分でなく、引き続き拡販が必要な段階にあります。

結果として、当上半期の連結業績は、売上高100億4千7百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益7億7千9百万円(同45.6%増)、経常利益9億3千7百万円(同25.2%増)となりましたが、特別損失の発生により親会社株主に帰属する四半期純損失1億3千6百万円(前年同期 親会社株主に帰属する四半期純利益4億9千5百万円)と最終赤字を余儀なくされました。これは、投資先であるFTI社およびDPT社の業績が事業スタートの遅れ等から、従来の事業計画を下回って推移していることに伴い、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、両社が保有する固定資産について減損損失を計上したことによるものです。

これら特別損失の計上に関しては、当社のステークホルダーの皆様に対する責任を痛感しており、厳粛に受け止めています。当社としては、当該損失は一過性であると考えており、引き続き、両事業の促進を通じて非砂糖分野の育成に注力する所存です。

**Q** 中期経営計画最終年度の進展をご説明願います。

**A** 最終利益は目標未達ながら、営業利益・経常利益は目標を大幅に超過する見込みです。

当期が最終年度となる3か年中期経営計画は、連結業績目標の「売上高205億円」は、ほぼ達成、「営業利益9.5億円」「経常利益11億円」を大幅に超過する見込みですが、「親会社株主に帰属する当期純利益7億円」については、特別損失の計上により、残念ながら未達となる見通しです。

各事業戦略の進展を述べますと、精糖事業では、課題であった液糖の生産集約化によりコスト改善が進み、また、当期中に砂糖小袋(1kg/袋)のマーク統一により在庫管理の簡易化を図る予定です。機能性素材事業では、イヌリンについて機能性表示や米国での安全性許認可を取得し、国内販売の拡大につながりました。ユニテックフーズ株式会社による食品素材の用途開発や品質改良剤の拡販も概ね達成と言える状況です。しかしながらイヌリンの海外拡販は、計画に遅れが生じ、タイのパン製造・販売事業も安定化というレベルには達していません。

現在策定中の新中期経営計画では、砂糖分野では、量より質を目指す安定性・採算性重視の方針を維持し、筋肉質な企業体

質を作り上げつつ、非砂糖分野では、既存および新規事業においても、海外市場を含めた成長事業に傾注していく考えです。

**Q** 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

**A** 今回の減損処理で懸念要素を払拭し、新たな成長性の確保に向けて力強く前進していきます。

通期の連結業績は、親会社株主に帰属する当期純利益が一時的に減益となるものの、売上高および営業利益・経常利益は、精糖事業および機能性素材事業の好調により、着実な成長と収益改善を示すと思われます。これを踏まえ、当期の期末配当は当初の予定を変更せず、1株当たり11円(前期同額)を実施させていただく方針です。

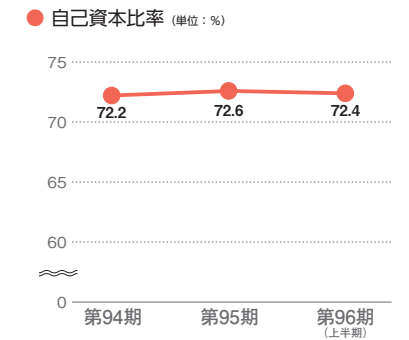
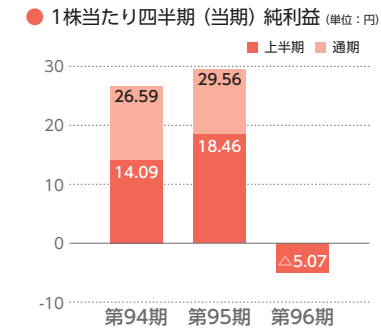
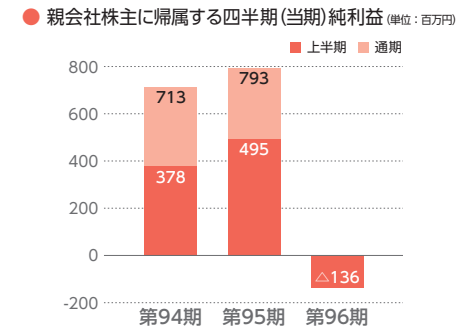
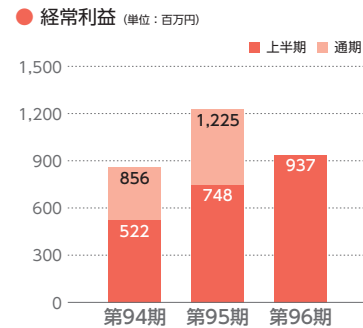
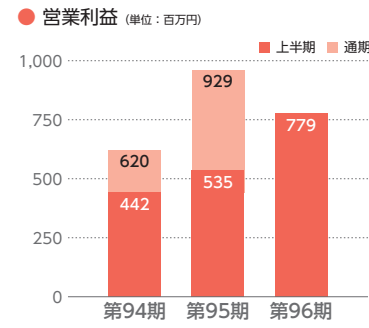
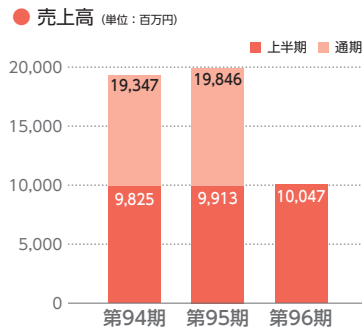
当社は、今回の減損処理によって海外事業の遅れにかかわる懸念要素を払拭し、新たな成長性の確保に向けて力強く前進してまいります。同時にコーポレートガバナンスの強化を図りながら、多様な人材が活躍する自由な企業風土を築き上げ、企業価値の向上につなげていく所存です。

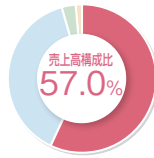
株主の皆様におかれましては、引き続き当社事業へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## 連結業績ハイライト

## CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS





## 精糖事業

事業内容：精製糖、砂糖関連製品の製造販売を行っております。

### 当上半期の概況

売上高： 5,726百万円  
営業利益： 884百万円

精糖事業につきましては、海外原糖市況はニューヨーク先物市場が期初12.33セント（1ポンド当たり）で始まり、ブラジルでの干ばつなどの影響で砂糖生産量が減少すると観測から上昇し、12.97セントを付けましたが、インドのさらなる増産により世界の砂糖需給は引き続き供給過剰が続くとの見込みから、当上半期末は10.42セントまで下げて終了しました。

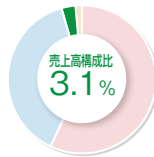
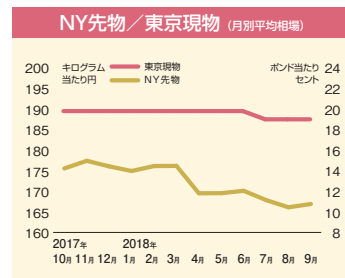
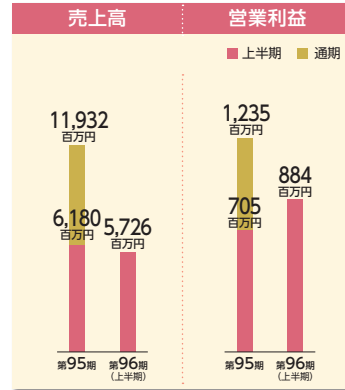
ニューヨーク市場先物相場（セント/ポンド当たり）の動き

| 期初    | 高値    | 安値   | 期末    | 平均    |
|-------|-------|------|-------|-------|
| 12.33 | 12.97 | 9.83 | 10.42 | 11.35 |

一方、国内市中相場（日本経済新聞掲載、東京上白大袋1kg当たり）は期初189円～190円で始まり、海外原糖相場の下落を受けて7月に製品出荷価格を2円引き下げ、当上半期末は、187円～188円で終了しました。

製品の荷動きとしましては、期初は順調に推移したものの、夏場の酷暑、度重なる台風の影響等もあり、飲料関係を中心に伸び悩み、販売数量は前年同期を下回りました。

この結果、売上高は5,726百万円（前年同期比7.3%減）、営業利益は884百万円（同25.3%増）の減収・増益となりました。



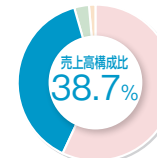
## 不動産事業

事業内容：当社が所有する土地建物の賃貸およびその他不動産関連事業を行っております。

### 当上半期の概況

売上高： 307百万円  
営業利益： 266百万円

不動産事業につきましては、売上高は307百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益は266百万円（同2.0%減）の増収・減益となりましたが、引き続き安定収益確保に貢献しました。



## 機能性素材事業

事業内容：機能性食品素材、食品添加物、切花活力剤等の製造販売、果実加工原料の販売を行っております。

### 当上半期の概況

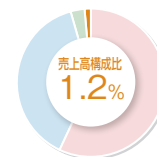
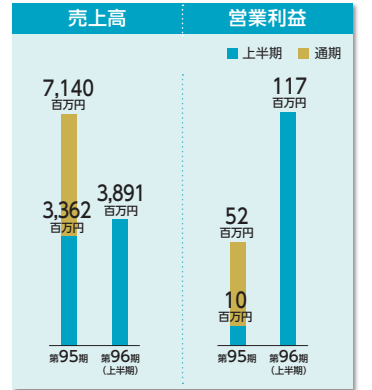
売上高： 3,891百万円  
営業利益： 117百万円

機能性素材事業につきましては、機能性食品部門ではイヌリンの整腸作用、血中中性脂肪の低減効果、食後の血糖値上昇の抑制効果に関する3つの機能性表示申請が受理されたことに加え、低糖質素材としての根強い需要があり、国内での新規採用が増加し増収となりました。

切花活力剤部門では、切花活力剤「キープ・フラワー」においてテレビCMを実施し、生花小売店向け販促を実施しましたが、花卉市場低迷のため販売数量が伸び悩み、概ね前年同期並みの売上高となりました。

連結子会社ユニテックフーズ株式会社におきましては、主力製品であるゼラチン、ペクチンの販売が伸び、増収となりました。

これらの結果、売上高は3,891百万円（前年同期比15.7%増）、営業利益は117百万円（同1,027.0%増）の増収・増益となりました。



## その他食品事業

事業内容：タイ国においてパンの製造販売を行っております。

### 当上半期の概況

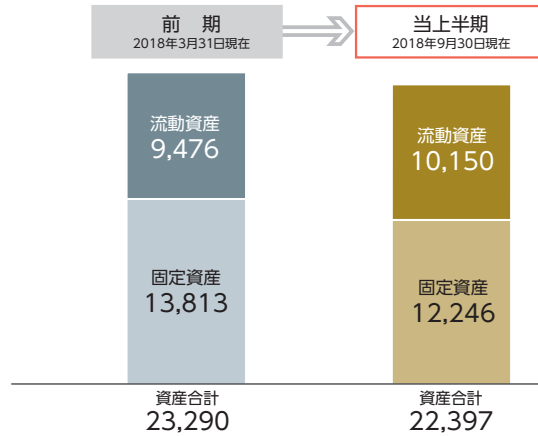
売上高： 121百万円  
営業損失： 47百万円

その他食品事業につきましては、タイでのパン製造・販売事業が中心ですが、売上高は121百万円（前年同期比89.9%増）、営業損失は47百万円（前年同期 営業損失70百万円）の増収・増益となりました。

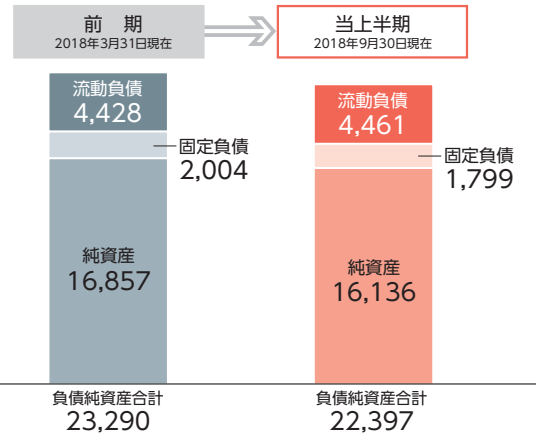


連結貸借対照表

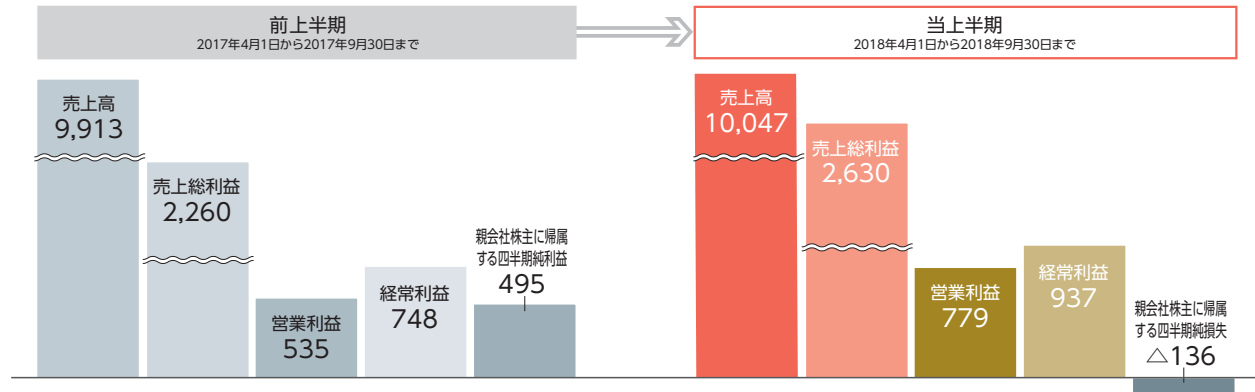
● 資産の部 (単位: 百万円)



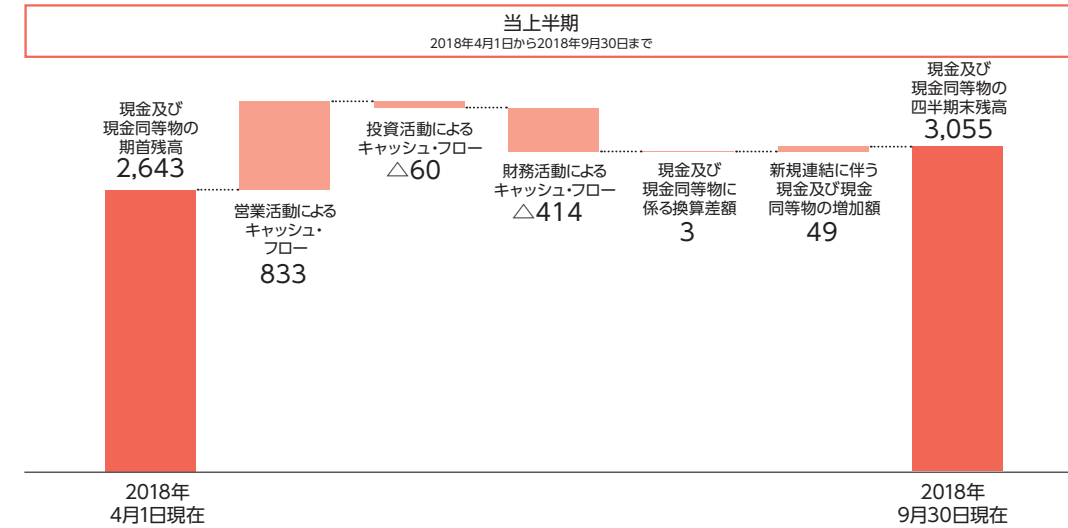
● 負債の部 (単位: 百万円)



連結損益計算書 (単位: 百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)



財務のポイント

● 資産

資産につきましては、流動資産で前期末に比べ7.1%増加し、10,150百万円となりました。これは主に現金および預金、「その他」に含まれる未収入金の増加等によるものであります。

また、固定資産は前期末に比べ11.3%減少し、12,246百万円となりました。これは主に有形固定資産に含まれる建物および構築物、機械装置および運搬具の減少等によるものであります。

● 負債

負債につきましては、流動負債で前期末に比べ0.7%増加し、4,461百万円となりました。これは主に未払

法人税等の増加等によるものであります。

また、固定負債は前期末に比べ10.2%減少し、1,799百万円となりました。これは主に長期借入金の減少等によるものであります。

● 純資産

純資産につきましては、前期末に比べ4.3%減少し、16,136百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失計上による利益剰余金の減少等によるものであります。

会社概要

|          |   |
|----------|---|
| 商号       | フジ日本精糖株式会社  |
| 英文名      | Fuji Nihon Seito Corporation  |
| 設立       | 1949年(昭和24年)7月  |
| 資本金      | 1,524百万円  |
| 従業員数     | 61名   |
| 本社所在地    | 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号<br>電話 03(3667)7811(代表)  |
| 清水工場     | 〒424-0924 静岡県静岡市清水区清開一丁目4番10号<br>電話 054(334)5353(代表)  |
| 横浜共同生産工場 | 太平洋製糖株式会社<br>〒230-0053 神奈川県横浜市鶴見区大黒町13番46号<br>電話 045(501)0511(代表)   |
| 子会社      | 協立食品株式会社<br>ユニテックフーズ株式会社<br>Fuji Nihon Thai Inulin Co., Ltd.<br>DAY PLUS (THAILAND) Co., Ltd.<br>FUJI NIHON (THAILAND) Co., Ltd.<br>Unitecfoods Korea Co., Ltd. |
| 関連会社     | 太平洋製糖株式会社<br>マ・マーマカロニ株式会社<br>南栄糖業株式会社   |

役員

|           |       |
|-----------|-------|
| 代表取締役会長   | 船越 義和 |
| 代表取締役社長   | 櫻田 誠司 |
| 取締役専務執行役員 | 櫻田 礎久 |
| 取締役執行役員   | 木船 亨  |
| 取締役       | 村上 光廣 |
| 取締役       | 前田 馨  |
| 常勤監査役     | 福田 弘  |
| 監査役       | 上平 徹  |
| 監査役       | 菊地 正男 |
| 監査役       | 東 順一郎 |

執行役員

|        |        |
|--------|--------|
| 上席執行役員 | 小島 康克  |
| 執行役員   | 大口 真央  |
| 執行役員   | 関根 郁也  |
| 執行役員   | 和田 正   |
| 執行役員   | 吉水 あつ子 |

監査法人

会計監査人 有限責任監査法人トーマツ

株式の状況

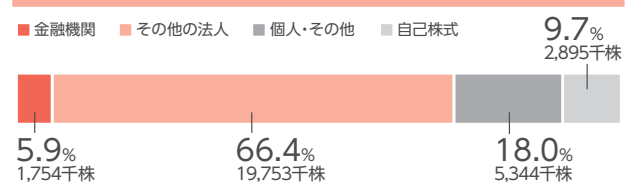
|          |              |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 110,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 29,748,200株  |
| 株主総数     | 13,773名      |

大株主

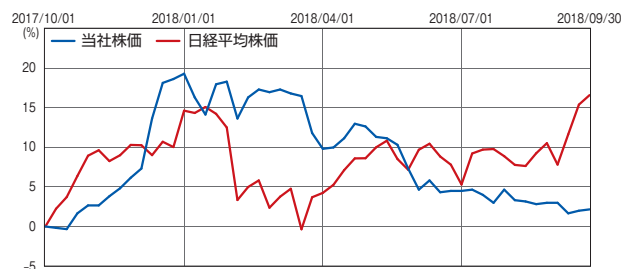
| 株主名            | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|----------------|---------|---------|
| 双日(株)          | 8,153   | 30.4    |
| 豊田通商(株)        | 2,459   | 9.2     |
| 鈴与(株)          | 1,902   | 7.1     |
| 和田製糖(株)        | 1,226   | 4.6     |
| (株)静岡銀行        | 792     | 3.0     |
| (株)榎本武平商店      | 758     | 2.8     |
| 小倉運輸(有)        | 669     | 2.5     |
| 新潟県砂糖卸荷受商業協同組合 | 600     | 2.2     |
| (株)サカタのタネ      | 563     | 2.1     |
| 東京海上日動火災保険(株)  | 447     | 1.7     |

(注) 持株比率は自己株式(2,895千株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



比較チャート (2017年10月1日を基準日とした当社株価と日経平均株価の騰落率)



## ホームページをリニューアルしました

2018年6月に当社ホームページをより見やすく、充実した内容に全面リニューアルしました。IR情報や商品情報、社会貢献活動などさまざまな情報を掲載しており、ネットショッピングもお楽しみいただけます。また、パソコンだけでなくスマートフォンやタブレットからも閲覧しやすいレイアウトにリニューアルしておりますので、是非ご覧ください。

当社は、今後もウェブサイトの速報性を活かし、お客様・株主様にさまざまな情報を発信してまいります。

フジ日本精糖 検索  
<http://www.fnsugar.co.jp/>



## タイ洞窟遭難事故救出活動に物資支援

日本国内でも連日報道されましたが、2018年6月にタイ北部チェンライ県の洞窟に少年サッカーチームのメンバーら13名が閉じ込められる遭難事故が発生しました。当社の子会社であるタイ国のDAY PLUS (THAILAND) Co., Ltd. (以下、DPT社) は、現地の食品会社と協力してDPT社の主力製品であるロングライフパン50箱(600個)を支援物資として現場にお届けしました。DPT社のロングライフパンは、賞味期限が60日間と長く、その保存性の高さから、このような緊急時・災害時の援助物資として大変好評を得ております。このたびの遭難事故におきましても、現地の対策本部・特殊部隊の方をはじめ、地元メディアや日系メディアの方々にロングライフパンを配布し、非常に歓迎されました。



## 株主優待品について

毎年3月31日現在で当社株式をご所有の株主の皆様へ、所有株式数に応じた自社製品詰合せを毎年6月に贈呈しております。本年の株主優待品は、1,000株以上ご所有の株主様への自社製品詰合せの内容について、駿河の国力レーから和彩糖に変更させていただきました。和彩糖は、多くの株主様から再販のご要望をいただいていた製品です。是非ご利用いただければと存じます。※和彩糖は当社ホームページからお買い求めいただけます。

|          |               |
|----------|---------------|
| 100株以上   | 1,000円相当の自社製品 |
| 1,000株以上 | 3,000円相当の自社製品 |



1,000円相当の自社製品例



3,000円相当の自社製品例

## 株主メモ

|                        |   |
|------------------------|---|
| 事業年度                   | 4月1日から翌年3月31日まで   |
| 基準日                    | 3月31日<br>なお、中間配当を行う場合は9月30日   |
| 定時株主総会                 | 毎年6月開催  |
| 株主名簿管理人<br>特別口座 口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社   |
| 同連絡先                   | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料)<br>郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  |
| 上場取引所                  | 東京証券取引所   |
| 公告方法                   | 当社のホームページに掲載いたします。<br>公告掲載URL <a href="http://www.fnsugar.co.jp">http://www.fnsugar.co.jp</a><br>(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。) |

### 【お知らせ】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

 **フジ日本精糖株式会社**

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号  
TEL : 03-3667-7811 <http://www.fnsugar.co.jp/>

**UD  
FONT**

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。